

親子でつくる旬のレシピ

やさしいでげんき



kikkoman 萬
おいしい記憶をつくりたい。



春キャベツのまるごと煮

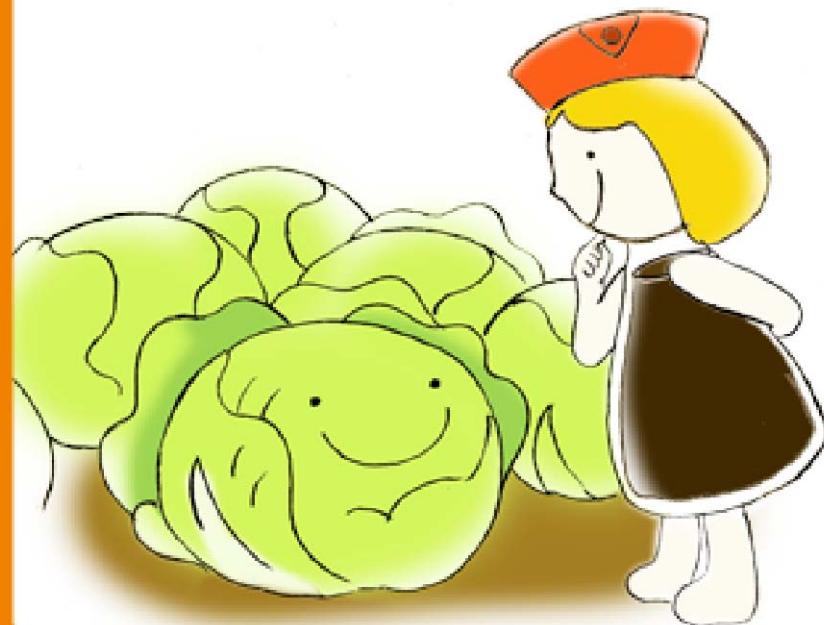
kikkoman 萬
おいしい記憶をつくりたい。

ボクは、春にひょっこり
顔だす春キャベツ。

でもね、この季節にだけ
住んでいるわけではないんだよ。

雪ふる、霜ふる冬のなか、

しんしん冷たい土で育ったんだ。



ピュー ピュー 吹き下ろす、

北風にだつてへこたれず。

来る日も来る日も我慢して。

水と太陽のめぐみを、

ゆつくりじっくり、吸いこんでいく。

まじめに頑張ればきっと、

あまく、やわらかくなれるはず。

そう信じて、ここまで

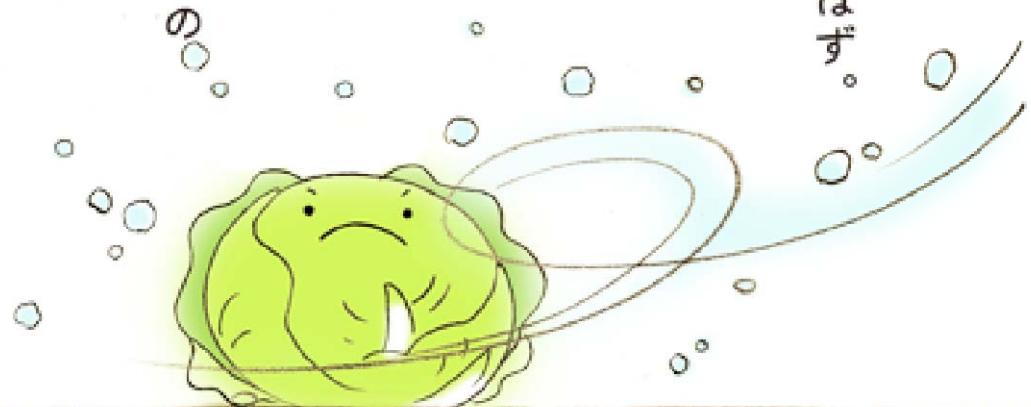
大きくなつたのさ。

きょうは、きびしい冬を

乗りこえたボクが、

「春キャベツのまるごと煮」の

つくり方を教えてあげるね。



まずはボクを

ごろごろころがして、

はっぱを一枚一枚、

やさしくはがしていこう。

ふんわり巻かれた

はっぱを、よく見てごらん。

外側が濃い緑になってるでしょ？

これが春キャベツの特徴なんだ。

芯は切ってもいいけれど、

ボクは芯までやわらかい。

そのまま煮込めば

ほくほく芯まで食べられる。

どう？春キャベツってすごいでしょ？



さあつぎは、
かるく塩をふったブタ肉と、
ボクをかわりばんこに
おナベの中で重ねるよ。

凍えるほど冬の空。
我慢を重ねた春キャベツ。

ブタ肉のうまいと重なれば、
とびきりのおいしさになっていく。
一体、どんなご馳走ができるんだろう。
ワクワク想像しながらやってみよう。





ボクとブタ肉が重なつたら、

ひたひたになるまで水を注いでね。

あたまのてっぺんくらいまで浸かるのを、

“ひたひた”って言うんだよ。

キッコーマンの特選丸大豆しょうゆと、

マンジョウの芳醇本みりんを、

大きじ5杯ずつ入れたら、

コンロの火をカチンとつけて20分。

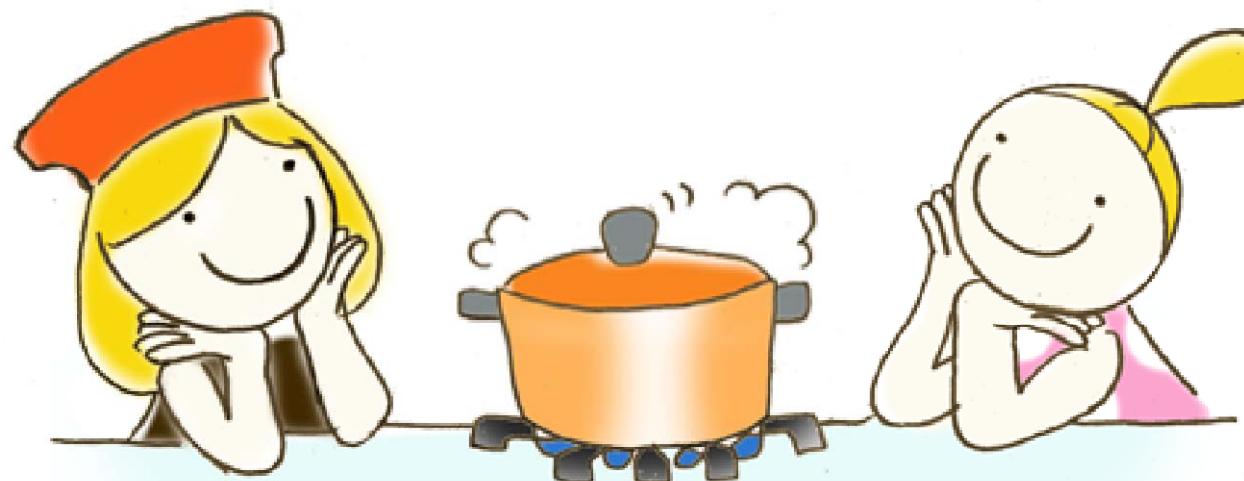
フタを閉じてじっくり待とう。

グツグツ、コトコト。

もういいかい？まだだよ。

春を待つボクみたいに、

じっと我慢しよう。



20分経ったら、

さあフタを開けてごらん。

春の香りのプレゼントが、

キッチンいっぱいにひろがるよ。

煮あがったポクを、

ベースデーケーキみたいに切り分けて、

おいしいスープと一緒に盛りつけよう。

さいごにイタリアンパセリを飾れば、

「春キャベツのまるごと煮」のできあがり。



春キャベツのまるごと煮

材料（4人分）

キャベツ	1個
豚肉(薄切り)	400g
塩	適量
(A)	
キッコーマン特選丸大豆しょうゆ	大さじ5
マンジョウ芳醇本みりん	大さじ5

作り方

1. キャベツの葉は1枚ずつはがす。
2. 豚肉にかるく塩をふる。
3. 鍋に（1）と（2）を交互に重ねる。
4. （A）とひたひたになるまで水を加え、20分煮る。
5. 切り分けて器に盛る。あれば、イタリアンパセリを飾る。

